

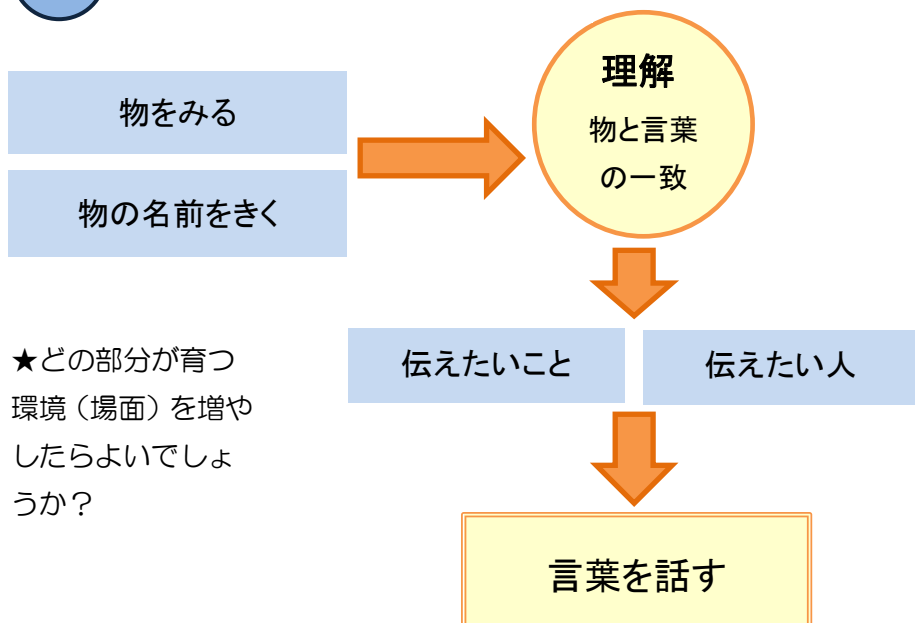
# 言葉が遅れていると心配しているお母さんへ

7-⑧

## 1 思いあたることがありますか？

- お母さんがもの静かで、言葉数が少ない
- 子どもがお母さんの顔を見たり、指さしをしている時に、忙しくて気づかないことが多い
- 子どもがひとりで、テレビ・パソコン・スマホを見ていることが多い
- 周りの大人が子どもの要求を察して、先回りしてやってしまうことが多い

## 2 言葉ができるということは？



## 3 子どもが見ているもの、指をさしているもの、感じていると思うことを言葉にしてあげましょう

- 食事の時…「マンマ食べる？」「おいしいね」「お茶ほしいの？」
- 排泄の時…「チー出たねー」「きれいにしようね」「気持ちいいね」
- 散歩の時…「クックはくよ」「ワンワンいるね」「ワンワンふわふわだね」「ワンワン大きいね」「電車行っちゃった」「お花きれいだね」「遊ぼう」「ボールころころ」
- 一緒にテレビを見る時…「アンパンマンどこかな？」「びっくりしたね」「これでおしまい」一緒に歌をうたう
- あいさつ…「おはよう」「パパ、おかえり」「おやすみ」「こんにちは」「バイバイ」「ありがとう」

## 4 体験の場が必要です。外に出かけましょう

\*子どもが遊んでいるところ、声をかけてくれる人がいるところ、動物がいるところなど近くにありますか？

\*外で遊んだり散歩、買い物をしているとお子さんに声をかけてくれる大人がいます（周囲の人の力を借りてもいいですよ）。また、公園などでの子ども同士のかかわりが言葉を育てます（ママ友はつくらなくてもいいですよ）

\*保育士さんなどが一緒に遊んでくれる、地域の遊び場もあります。市町村の保健師等におたずねください